

接種までの流れと注意点

ワクチン接種を受けるかは、自らの意思で決められます。感染症予防の効果や副反応のリスクなど、正しい知識を持った上での判断をお願いします。



厚労省ホームページ

■接種前に注意すること

- 現在、何かの病気にかかって治療中の人は、主治医の確認が必要
- 2週間以内に他の予防接種を受けた人は、接種前後2週間を過ぎないと接種はできません



■接種当日に注意すること

- 当日、明らかな発熱(37度5分以上)があるなど体調が悪いときは接種を控え、予約した医療機関(集団接種会場は市新型コロナワクチンコールセンター)に連絡を
- 接種券と本人確認書類(保険証など)の持参を
- 密を避けるために早すぎる来場は控え、予約時間通りに



■接種後に注意すること

- 接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ、吐き気、嘔吐などの副反応が出る場合があります
- 副反応とみられる症状が続いたり、いつもと違う体調の変化や異常があれば、かかりつけ医療機関などに相談を
- すぐに多くの人が接種を受けるわけではないことから、接種後も引き続き感染症対策の徹底をお願いします

ワクチン接種に便乗した詐欺にご注意

新型コロナワクチン接種のために必要としたり、金銭や個人情報などをだまし取るうとする詐欺にご注意ください。

- 新型コロナウイルス接種は無料です
- 本市がワクチン接種のために金銭や個人情報、電話やメールで求めることはありません



問い合わせ 市消費生活センター ☎808・7500

各種支援と相談窓口&熱中症対策

各種支援

事業者の皆さんへ

■家賃支援金

県の飲食店への営業時間短縮要請などで売り上げが減少し、家賃などの負担が大きくなっている中小企業者などへ支援金を給付します。

申し込み 詳しくは市HPが7月15日(木)から市家賃支援金専用ダイヤル ☎295・4381へ



市ホームページ

■雇用維持支援金

国の雇用調整助成金や緊急雇用安定助成金の受給が決定した市内の中小企業者に支援金を給付します。

◇申請期限

- ①1～3月休業分：7月31日(消印有効)
- ②4～6月休業分：10月31日(消印有効)

申し込み 詳しくは市HPが雇用維持支援金専用ダイヤル ☎803・8671 FAX216・1303へ



市ホームページ

■新型コロナウイルス感染症対策 時短要請協力金

申し込み 詳しくは県HPが県時短要請協力金給付事業 事務局 ☎295・0286へ



県ホームページ

市民の皆さんへ

■住居確保給付金

離職や休業などによる収入の減少で、住居を失う恐れがある人へ家賃額を支給します(家主などに直接支給)。 ※上限額あり

問い合わせ 生活・就労支援センターかごしま ☎803・9521 FAX216・1234



■子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外分)

令和3年度個人住民税が非課税か、新型コロナの影響で非課税の水準に収入が下がった子育て世帯に給付金を支給します。申請は7月15日(木)から受け付けます。

※今年4月分の児童手当か特別児童扶養手当を受給している非課税の人は、申請が不要

問い合わせ 7月15日(木)から子育て世帯生活支援特別給付金コールセンター ☎216・7001へ

■緊急小口資金、総合支援資金(生活支援費)

収入が減少した世帯などの貸し付けの相談・申請を受け付けます。

問い合わせ 市社会福祉協議会相談予約専用ダイヤル ☎210・7105

相談窓口&熱中症対策

人と十分に距離を取れるときは、状況に応じてマスクを外す、小まめに水分を取るなど、熱中症に注意しましょう。

新型コロナウイルス感染症に関する相談

■発熱などの症状があるときは、かかりつけ医療機関へ連絡を。相談方法・

受診先などは、市HPをご覧ください

◇受診先・相談先に迷うときは、受診・

相談センター ☎216・1517へ

◇受付時間：8時30分～17時15分(土・日曜日、祝日を除く)



市ホームページ

※右記以外の時間の相談は、キタゾノクリニック ☎213・9200、米盛病院 ☎080・8742・3026、新成病院 ☎080・8372・7676へ

■受診相談以外は、新型コロナウイルス感染症相談窓口 コールセンター(コロナ相談かごしま) ☎833・3221 FAX225・0672へ

市長からのメッセージ

子どもたちの

元気な笑顔のために

梅雨の晴れ間の青空に、本格的な夏が近づいているのを感じています。

夏休みもいよいよ始まりです。子どもたちは胸をわくわくさせていることでしょう。暑さが募る中でのマスク着用には不便も多いと思いますが、小まめな水分補給などで熱中症対策を心掛け、元気に過ごしてもらいたいと思います。新型コロナと熱中症、それぞれの予防が両立できるよう、ご家族など周囲の皆さんのご配慮もぜひお願いいたします。

本市でも、子どもたちの新型コロナ感染防止対策をさらに講じるため、本市独自に設けたワクチンの優先接種対象者の中に、保育所や幼稚園、小・中学校などに勤務する方々を盛り込みました。一人人を超える対象者を予定し、今月から接種が始まります。

夏空のような子どもたちの笑顔を守るためにも、ワクチン接種をはじめ新型コロナ対策をスピード感をもってしっかりと進めていきます。



鹿児島市長 下鶴隆央